

教科目名 地域日本文学 (Regional Japanese Literature)

学科名・学年 : 全学科 4年 (教育プログラム 第1学年 科目)

単位数など : 必修 2単位 (前期1コマ, 後期1コマ, 学習保証時間45時間)

担当教員 : 山田繁伸

授業の概要		
<p>本校の学習・教育目標の一つに、多様な文化を理解し、コミュニケーションできる力を身につけることが掲げられている。この目標は、文芸著作物は、国境のないものであり、諸国間で共有する価値あるものであると書かれているP.E.N.憲章と軌を一にするものであろう。共有する価値ある文芸著作物の一つに、地域文学を考える。地域文学は、地域の文化を端的に具現化したものである。これを読み解くことによって、先の目標の達成を目指す。</p> <p>前期は、おおいた県民アカデミア大学インターネット講座「地域学B(文学)」を下敷きとした授業にする。後期は、「ふるさとの文学 - 大分県を舞台にした作品集 -」を中心に、読解・鑑賞を試みる。また、毎回30分程度を表現法に関する学習にあて、日本語表現力の養成に努める。</p>		
達成目標と評価方法		大分高専目標(C1), JABEE 目標(f)
<p>(1) 風土とかがわりの深い短歌・俳句を読み味い、鑑賞力を養うことができる。(定期試験と課題)</p> <p>(2) 短歌・俳句を解釈・鑑賞し、その内容を適切な長さの文章にまとめることができる。(定期試験と課題)</p> <p>(3) 豊かな地域の風土を背景にして描かれた作品を正しく読み解くことができる。(定期試験と課題)</p> <p>(4) 読み解いた作品の世界を第三者に分かりやすく説明することができる。(定期試験と課題)</p>		
回	授 業 項 目	理 解 度 の 自 己 点 検
1 2 3 4 5 6 7	<p>1 県北地区の短歌</p> <p>2 国東半島の短歌</p> <p>3 別府地区の短歌</p> <p>4 大分地区の短歌</p> <p>5 県南地区の短歌</p> <p>6 豊肥地区の短歌</p> <p>7 久大地区の短歌</p>	<p>短歌を正しく解釈・鑑賞できる。</p> <p>短歌表現の豊かさを実感できる。</p> <p>自ら表現したい内容を第三者が理解できるようにまとめることができる。</p> <p>基本的な文章表現法にのっとり、説明文を書くことができる。</p>
8	前期中間試験	【試験の点数】 点
9 10 11 12 13 14	<p>9 前期中間試験の解答と解説</p> <p>10 県北地区の俳句</p> <p>11 国東半島の俳句</p> <p>12 別府・大分地区の俳句</p> <p>13 県南地区の俳句</p> <p>14 豊肥地区の俳句</p> <p>14 久大地区の俳句</p>	<p>俳句を正しく解釈・鑑賞できる。</p> <p>俳句の特性を理解できる。</p> <p>大分の風土のすばらしさを味わい、自然観について考えることができる。</p> <p>想像を豊かに膨らませて、鑑賞文を書くことができる。</p>
15	前期期末試験	【試験の点数】 点
16 17 18 19 20 21 22	<p>16 随筆、深田久弥「九重山」</p> <p>17 随筆、深田久弥「祖母山」</p> <p>18 随筆、瀬戸内寂聴「緑の国東巡礼の旅」</p> <p>19 随筆、水上勉「ある外科医の死」</p> <p>20 紀行文、三島由紀夫「日記」</p> <p>21 紀行文、中谷宇吉郎「湯布院行」(1)</p> <p>22 紀行文、中谷宇吉郎「湯布院行」(2)</p>	<p>表現の背後に隠されていることを調べたり想像したりしながら、正しく読解できる。</p> <p>風土の描き方の優れた点を理解できる。</p> <p>優れた随筆や紀行文を読むことによって、自ら随筆や紀行文を書くことができる。</p>
23	後期中間試験	【試験の点数】 点
24 25 26 27 28 29	<p>24 後期中間試験の解答と解説</p> <p>25 小説、三浦哲郎「娘と湯の花」</p> <p>26 小説、松本清張「陸行水行」</p> <p>27 小説、高杉良「生命燃ゆ」</p> <p>28 小説、川端康成「波千鳥」</p> <p>29 小説、国木田独歩「源叔父」(1)</p> <p>29 小説、国木田独歩「源叔父」(2)</p>	<p>身近な風土を視点に小説に親しみ、小説のおもしろさを読み解くことができる。</p> <p>情景や人物の心情の優れた表現を理解できる。</p> <p>優れた表現を理解し、自らの表現力を高めることができる。</p>
30	後期期末試験	【試験の点数】 点
	後期期末試験の解答と解説	
履修上の注意	プリントを綴じるA4版のファイルを各自で準備しておくこと。	【総合達成度】
教科書	授業中に配布するプリント	
参考図書	木下是雄、「理科系の作文技術」、中央公論社 松本義一、「大分文学紀行」、アドバンス大分 山田繁伸、「おおいたの歌碑を歩く」、大分合同新聞社	
関連科目	現代文、卒業研究	
総合評価	達成目標の(1)~(4)について、4回の定期試験と課題で評価する。 総合評価 = 0.8 × (4回の定期試験の平均点) + 0.2 × (課題点) 総合評価が60点以上を合格とする。	【総合評価】 点

